

小学校算数科の習熟度別指導展開案（一部抜粋） 単元名「分数のかけ算とわり算を考えよう」

	到達目標と関連する既習内容	Pコース		形態	Sコース	
		指導上の留意点	学習活動		学習活動	指導上の留意点
1 オリエンテーション	[関連内容] ・かけ算九九 ・わり算の考え ・分数概念 ・数の性質 ・面積	・診断的評価問題 ・自己評価カード ・単元学習の流れの図（オリエンテーション用）	1 オリエンテーションにより本単元での学習の進め方を確認する。 2 診断的評価を行う。 3 診断的評価の結果を主として、学習コースを選択する。			・診断的評価問題 ・自己評価カード ・単元学習の流れの図（オリエンテーション用）
2 学習活動 I		・補充学習用プリント、診断的評価問題を準備	1 既習内容の復習を教師の支援で行う。 2 診断的評価を再度行う。 3 習得が図られた児童は学習プリントによる個別学習を行う。 4 習得不十分な児童には個別指導を教師が行う。	直接指導 間接指導	1 診断的評価テストと同レベルの問題を個別学習を中心に行う。 2 練習用学習プリントが終わった児童は適応発展問題を行う。	・練習学習用プリント、適応、発展学習プリントを準備
3 学習活動 II	[到達目標] ・分数に整数をかけることの意味が分かる。 ・真分数×整数の計算の仕方が分かる ・真分数×整数の計算ができる [関連内容] ・九九を見直そう	・面積図を準備 ・児童が必要に応じて面積図をかけるように指導していく。 ・形成的評価問題の準備	問題 1 dℓで板を $2/5 \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。 このペンキ 2 dℓでは、板を何 m^2 ぬれますか 1 問題の分析をする 2 立式する 3 面積図により $2/5 \times 2$ の計算の仕方を考える 4 $2/5 \times 2$ の計算の仕方をまとめる 5 形成的評価を行う 6 有熟度別学習コースを選択する	全部の数？ 1あたり量 $2/5 \text{ m}^2$ いくつつ分 2 dℓ	7 ドリルでの練習を行う 8 発展学習を行う 9 次時の予習を行う	・ドリルの答えを自分で確認する ・発展学習の答えを自分で確認するが、分からないものについては教師の支援を受ける ・ドリルによる学習や発展学習への取り組みの状況を、教師は、ノートや学習プリントを授業後、回収して把握する。
4 学習活動 II	・分数×整数の計算で途中で約分すること方法が分かる ・分数×整数の計算で途中で約分することができる	・面積図の準備 ・児童が必要に応じて面積図をかけるように指導していく。 ・面積図を自分で書き、自力解決ができるようにする	問題 1 dℓで板を $3/8 \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。 このペンキ 4 dℓでは板を何 m^2 ぬれますか 1 問題の分析をする 2 立式する 3 面積図により $2/5 \times 2$ の計算の仕方を考える 4 $2/5 \times 2$ の計算の仕方をまとめる	全部の数？ 1あたり量 $3/8 \text{ m}^2$ いくつつ分 4 dℓ		

	到達目標と関連する既習内容	Pコース		形態	Sコース	
		指導上の留意点	学習活動		学習活動	指導上の留意点
4	[関連内容] ・大きさの等しい分数 ・約分と公倍数	・形成的評価問題 ・学習チェックカードにより学習習得状況を把握する	5 形成的評価を行う 6 習熟度別学習コースの選択			
			習熟度別指導は第3時と同様			
5 学 習 活 動 II	[到達目標] ・分数を整数でわる意味が分かる ・分数÷整数の計算の方法が分かる ・分数÷整数の計算ができる [関連内容] ・わり算の仕方を考えよう ・わり算と分数 ・分数×整数	・単位量が聞かれていることに着目させる。 ・面積図でかけ算の場合との違いをとらえさせる ・面積図から商を予想し、分数を整数でわることのイメージを持たせる	問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2 dlで板を $4/5$ m²ぬれるペンキがあります。 このペンキ 1 dlでは板を何m²ぬれますか</div> 1 問題の分析をする 2 立式する 3 面積図により $4/5 \div 2$ の計算の仕方を考える 4 $4/5 \div 2$ の計算の仕方をまとめる 5 形成的評価を行う 6 習熟度別学習コースの選択	1 あたりの数? いくつ分 2 dl 全部の数 $4/5$		・分析の段階で問題の構造をノートに面積図で書かせる
			習熟度別指導は第3時と同様			
10 学 習 活 動 III	[到達目標] 単元の到達目標(分数のかけ算まで)	・総括的評価問題 ・総括的評価問題は形成的評価問題から抜粋する	1 総括的評価を行う 2 総括的評価の結果を基にして、学習コースを選択する			
		・補充学習後の再総括的評価により児童の学習習得状況を把握し、その後の個別指導の基礎資料とする ・習得が図られた児童は個別学習により、学習を進める	3 単元学習についての補充学習を行う 4 総括的評価問題で習得状況を確認する 5 学習プリントによる個別学習を行う	直接指導 間接指導	3 学習プリントによる個別学習を行う 4 学習プリントによる発展学習を行う	・総括的評価問題と同レベルの学習プリントで練習する ・文章題による適応も図る。 ・発展学習のための学習プリントの内容は単位時間の発展学習用の学習プリントから抜粋したものとする 問題例 帯分数×帯分数 帯分数÷帯分数 連乗除の計算や文章題